反貧困の財政

12.13 埼玉集会

TAX JUSTICE

― 公正な税制により社会保障の充実を求める ―

２０１５年度の社会保障費は３９００億円削減されました。また、政府は、骨太の方針２０１５を閣議決定し、歳出改革は聖域なく進め、特に、社会保障は、その重点分野であるとし、今後、年間３０００億円から５０００億円もの社会保障費を削減し、医療、介護、年金、障害、生活保護等幅広い分野で、さらなる給付削減、自己負担増等を進めようとしています。

しかし、その一方で、防衛予算は３年連続で増加し、オスプレイ１７機を３６００億円で購入するとし、財界の要求どおり法人税率の一層の引下げを進めようとしています。

財政は、本来、人の生存を可能にし、その尊厳を守るためにこそ存在するものであるはずです。貧困と格差が拡大する中で、減税を進めつつ、財源がないとして、社会保障費を削減するのは、正しい財政のあり方なのでしょうか。

貧困と格差の拡大に歯止めをかけ、人々が、健康で文化的な生活をして幸せに生きることができる社会を構築するために、財政はどうあるべきなのか。現場の声を聞き、みなさんと一緒に考えます。是非、ご参加ください。

（主な内容）

○　講演　公正な税制を求める市民運動が、なぜ、今必要か

宇都宮健児（弁護士。元日弁連会長。公正な税制を求める市民連絡会共同代表）

○　当事者発言・現場からの報告

生活保護・年金・奨学金・障害・医療・介護などの現場から

○　講演　反貧困の財政学－「救済」から「連帯」へ－

高端正幸（埼玉大学准教授）

日時：**12/13（日）13:00～16:10**（開場 12:30）

会場：ときわ会館　　参加無料・申込不要

〒330-0061　さいたま市浦和区常盤６－４－２１　TEL 048-822-4411

さいたま市役所裏。JR 浦和駅（西口）から徒歩 16 分、北浦和駅（西口）から徒歩 15 分

主 催：反貧困ネットワーク埼玉

後 援：埼玉労福協・公正な税制を求める市民連絡会

埼玉弁護士会・埼玉司法書士会

★カンパのお願い・反貧困ネットワーク埼玉を応援してください。

【カンパ口座】埼玉りそな浦和中央支店　普通５５６３７８６　反貧困ネットワーク埼玉

事務局連絡先：司法書士　広瀬隆　さいたま市浦和区高砂１－１０－６　　TEL048-815-6978